

第 40 回 山梨県手術室・中材研究会

『手術室・中央材料室における安全対策』

日時 令和元年 6 月 22 日 (土曜日) 13:30~17:00

場所 アピオ昭和本館

【プログラム】

ミニ講演 患者の安全を担保するための中央滅菌材料室の役割

講師 山梨厚生病院 材料部看護師長 小池栄子先生

特別講演 安全文化を形成するチームステップスと SBAR の重要性

講師 山梨県立大学 看護学部教授 遠藤みどり先生

座長 韮崎市立病院 副院長 鈴木修先生

【シンポジウム】

○多職種連携を踏まえた緊急帝王切開シミュレーションの取り組み

山梨大学医学部附属病院 熊谷奈美

○当院手術室における医療安全への取り組み

地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院 保坂恭平、

高野よしみ

○手術セット組みの確認方法の検討

国立病院機構甲府病院 角田裕子、田中和代

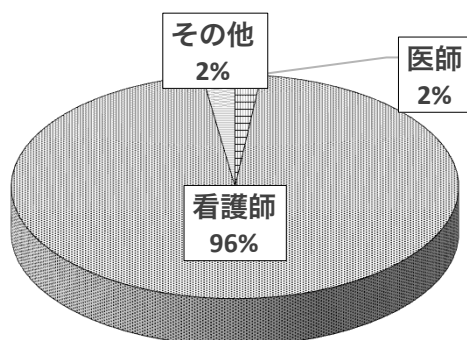
○マニュアルの確認不測により発生したインシデントの要因抽出と対策検討

峡南医療センター富士川病院 山口小百合

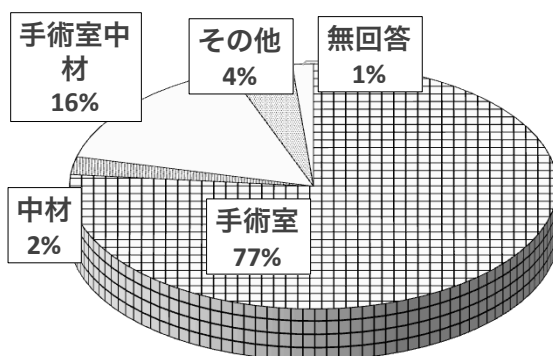
参加者 221名 (会員 207名 非会員 14名)

1. 基本情報

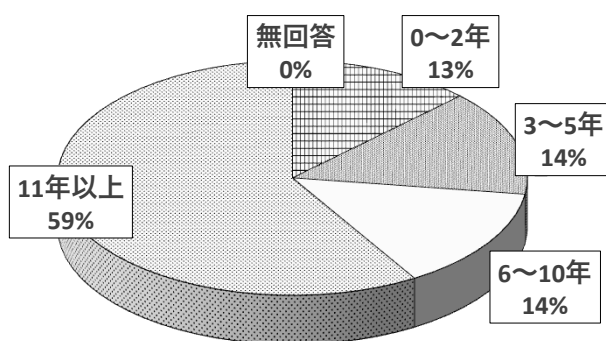
《職種》



《所属》

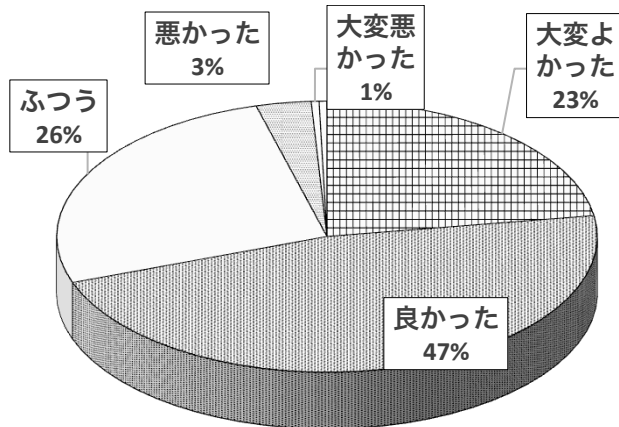


《手術室・中材経験》

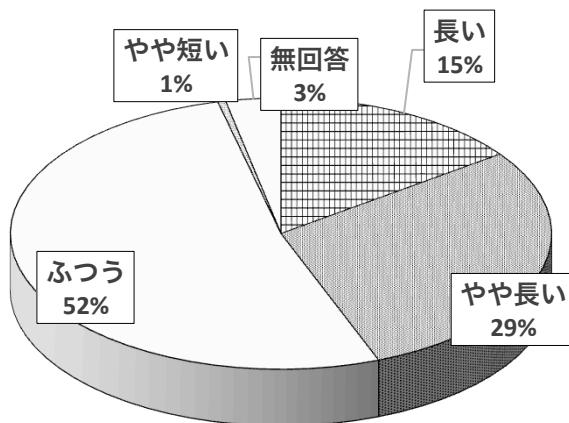


2. アンケート結果

《講演内容》



《時間配分》



- ・ 医療安全を踏まえた中材業務について学ぶことが出来た。他施設の取り組みを聞き、当院の中材の安全性を見直すきっかけとなった。
- ・ チームステップス、SBAR の重要性を改めて考えることができた。安全のためにチームで協力したい
- ・ アサーティブコミュニケーションのトレーニングを行い、多職種間で円滑なコミュニケーションをとることができるようになりたい。
- ・ 多施設のインシデントや安全対策について聞くことができよかった。当院の改善点を見出すことにつながった。